丸亀支部　活動報告

１　研究主題

『自ら学び、自ら行動する生徒の育成』―さまざまなメディアを活用し、主体的に学習する生徒の育成―

２　はじめに

丸亀支部では本年度の研究テーマを『自ら学び、自ら行動する生徒の育成』とし、メディア活用の目的を明確にした授業づくりについて研究してきた。本年度は、丸亀市教育クラウドの運用が開始され、２年目となり各校における教師用パソコンの整備やＩＣＴ機器等の整備が進められた。また、４年後には、丸亀市において小・中・高を通してのメディア教育に関する研究大会が予定されている。そうした中で、昨年度の実践を踏まえ、各種視聴覚機器・教材の活用事例の研究を重ね、より効果的な活用のあり方について考察した。

３　研究計画

(1)　５月２日（金）
丸亀市中学校教育研究会
場所：丸亀市立綾歌中学校
内容：研究組織・研究主題
研究内容の決定

(2)　８月 21 日（木）
メディア教育部会夏季研修会
場所：ｅートピア・かがわ
内容：タブレットＰＣ　Windows8

(3)　12 月 10 日（水）
丸亀市中学校教育研究会
場所：丸亀市立飯山中学校
内容：各中学校の取り組みについて
実践発表

４　研究内容

・各校の研究内容における情報交換

（西中学校）

パワーポイントでの授業用のスライドを作成し、液晶プロジェクターでホワイトボードや黒板に投影して、その上から書き込みをして利用している。(黒板の場合には、ホワイトボードがシート状になった板磁石を黒板に貼って利用。音楽科では、パワーポイントのスライドに演奏を貼り付け、マルチメディアとして活用している。理科では、授業用スライドをコンピュータのサーバーに保存し、ネットワークを利用して、授業に利用している。板書の時間を短縮でき、丁寧に説明する時間の余裕ができたり、生徒に考えさせる時間が多くとれるので授業の効率が向上でき、若年教員を中心に活用する教師が増えてきている。音楽、社会、理科などで活用されている。

技術科の授業では、学習・授業支援ソフト『ジャストジャンプ』を活用。「材料と加工」「エネルギー変換」「生物育成」「情報」「計測と制御」「プログラム実習」の各分野でワークシートや授業ソフトを活用している。情報の授業で「計測と制御」「プログラム実習」の学習で活用している。

（飯山中学校）

若年研修会にてポータブル電子黒板の使用方法について研修を行った。また、美術科、技術科が授業にてポータブル電

子板を使用した。特に美術科では、導入時に、教師が画像を説明するだけではなく、ペンツールを利用して、生徒がアイディアを考えたり、紹介したりする作業に使用した。教師の言葉や文字だけの説明より、画像を見せ、いろいろなパターンを繰り返して説明することができるので、生徒の理解力が高められたように思われる。また、生徒が操作することで意欲的に授業に参加する姿が見られた。しかし、パソコンやプロジェクターの移動や、準備などに時間が必要であるので、スムーズに準備できるように工夫が必要である。

（綾歌中学校）

１２月１０日の丸亀市教育研究会にて昨年から各校に導入されている簡易電子黒板「ｍｉｍｉｏ」の研修を行った中で、技術科の授業で簡易電子黒板を用いて、のこぎりの使い方の動画を説明にあたっている様子を紹介した。各校とも職員研修での利用はあるものの、授業や活動内での実践はほぼなく、簡易電子黒板を見ることも初めての先生方もおられた。研修においては、基本的な操作方法、写真やデータ、動画などの添付においての利用や授業内での実践例をあげての紹介、説明を行った。

５　考察と今後の課題

簡易電子黒板について、前回の研修会の中で、教科ごとの活用や場所に制限があるなどの指摘を頂いたが、今回の研修ではホワイトボード以外での投影も可能であり、黒板を用いて写真や動画を投影している様子や道徳や学活などで活用した報告も行った。また、部活動での活用については、各校の先生方も興味を示され、今後の活用が期待されるように思われる。

一方で、さまざまな新しい視聴覚機器や教材が配備されてきているが、どのような機材が配備されたか、また、その操作方法や活用方法などについて、十分理解できていないようにも思われ、また、教材研究以外に授業準備にかかる手間や機器の移動や準備の必要性、データなどを作成する作業についての課題もある。

今後は、各校における校内研修やメディア教育部会を中心とした教員研修を充実させ、新しく導入された機器や教材についての情報や使用方法を広く教員に伝えていくとともにツールとして活用していく能力をさらに高めていくことが重要であると考える。